

高雄地域まち歩きワークショップの各グループの発表内容等
(平成26年9月4日開催)

- 1 嵐山 - 高雄パークウェイ
 - 教習所の山岳教習の場として提供はどうか。
 - 大型イベント向け、カップ向け、観光向け、ファミリー向けなど、テーマごとのセットコースを設定してはどうか。
 - ※ 意見交換で、蔭山委員から「以前は山岳教習で使ってもらっていた。現在も営業活動は行っている」との説明があった。また、地元密着型の取組をする企業は増えているが、パークウェイは行ったことがあるかとの質問に対しては、ないと思うとの説明があった。

- 2 平岡八幡宮周辺【大覚寺～平岡八幡宮】
 - 直指庵～後宇多天皇陵の道は車のスピードが速く危険がある。
 - 後宇多天皇陵～高雄地域の道はゴミがあったり、道の真ん中に深い溝があったり、廃車があるなど、整備が必要である。後宇多天皇陵周辺には案内板も必要。
 - 山道から高雄地域の住宅街に出るとギャップがすごい。また、高雄地域住宅街から山道に入る手前に「この先行き止まり」の看板があるが、この書き方だと徒歩でも無理な感じを受ける。
 - この道単体ではPRできないと思う。空海も通った神護寺、平岡八幡宮、大覚寺を結ぶ道としてPRできるのではないか。

- 3 神護寺周辺
 - 川沿いの道は京都一周トレイルの看板があるが、そこに向かうまでの道に注意書きが多く、この先に行っていないのかとってしまう。
 - 神護寺まで行くと素晴らしいが、その手前の玄関口の旅館、飲食店に魅力が少ない。旅館の裏口を通るような道は残念だ。
 - 清滝方面へ行く道については、案内人がいると面白い。間接的に利潤を得る企業に高雄をPRしてもらおう方法を取れないか。(例えば、モンベル、c w - x など)
 - 遠方からも来てもらう方法としてタクシー会社と連携ができないか。(タクシーで来ると割りきするなどのPRチラシの作成)
 - 神護寺には深いストーリーがある。目指す方向性を明確にしたPRが必要ではないか。
 - 空海の通ったルートとしてのコース設定ができないか。(2と同趣旨)
 - ※ 意見交換では、高雄地域検定を実施してはどうかとの意見などがあった。

- 4 西明寺及び高山寺周辺
 - 川沿いの道は気持ちいいが、ガードレールや案内板などの整備が必要ではないか。(景観に配慮した看板、目的地までの距離や所要時間の掲載)
 - つつじの風景を見られる場所が少ない。
 - 住宅街の屋根の並び、石垣が整っている。
 - 白雲橋までの道が歩行者には危ない。抜け道を利用できないか。
 - 環境配慮型のPRができないか。(電気自転車、電気自動車など)
 - 三山での魅力PRを充実すべきでないか。(フォトコンテスト、スタンプラリー、ハイキングコースなど)
 - 海外の観光客向けにWi-Fi環境を整えてはどうか。
 - 体験型のメニューを充実させてはどうか。